

～2025年は国際協同組合年です～

かながわC○-ネット通信

No. 126

神奈川県協同組合連絡協議会

かながわC○-ネット会員組織 御中

2025年11月20日

協同組合相互学習会(ワークショップ)のご案内

2025国際協同組合年 神奈川県実行委員会は国際協同組合年の取り組みとして、協同組合年の意義、地域社会に果たす役割の理解や参加者の交流を図り、相互理解を深めることで継続定期な連携につなげることを目的とした相互学習会(ワークショップ)を開催します。

開催案内や参加申込等についてはC○-ネット通信でも紹介しますので、ぜひ、ご参加ください。

『親子で学ぶ♪買う♪食べる♪JAグループまるごと企画』

受け入れ団体：JAあつぎ、JA共済連神奈川、株式会社農協観光、JA神奈川県中央会

日時：2026年2月14日（土）9時15分～12時35分

※当日の行程班ごとに集合・終了時間は異なります。

場所：JAあつぎ相川支所→内海いちご園→JAあつぎ夢未市

内容：いちご狩り、自転車シミュレーション体験など

参加申込：チラシを確認のうえ申込ください。（先着60名）

詳細：チラシを確認ください

イベント・セミナー等のご案内

生活クラブ生協・神奈川 第12回東日本大震災復興まつり～ともに生きよう！2025～

生活クラブ生協・神奈川は11月22日に第12回東日本大震災復興まつりを開催します。当日は東北からの団体や生活クラブの生産者等、美味しいものや楽しいものが約100ブース出展予定です。また、出展団体の売り上げの一部は被災地支援となります。ご興味のある方はぜひご参加ください。

開催日時：2025年11月22日（土）10:00～14:30（雨天決行）

場所：パシフィコ横浜臨港パーク・芝生広場

詳細：チラシをご覧ください。

研究フォーラム2025 「弱者を生まない社会への転換を」

研究フォーラム2025実行委員会は、かながわC○-ネット会員の一部が参加している実行委員会であり、12月9日に研究フォーラム2025を開催します。当日は基調講演やパネルディスカッションを行いますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

開催日時：2025年12月9日（火）13:30～16:15

場所：神奈川区民文化センター「かなっくホール」

詳細：チラシをご覧ください。



参加申込 QR コード

参加申込 URL <http://www.systemken.org>



▶2025年は「国際協同組合年（IYC2025）」です。詳しくはJCAのホームページをご覧ください。

▶会員組織間の提携事例をはじめ、告知を希望する行事、困り事等がありましたら下記までご連絡ください。

<担当事務局連絡先>

J A神奈川県中央会 総務企画部(担当：古谷・佐々木)TEL. 045-680-3001 sou-ki@chu.kn-ja.or.jp

神奈川県生活協同組合連合会(担当：北澤)TEL. 045-473-1031 Minoru.Kitazawa@ucoop.or.jp

『親子で学ぶ♪買う♪食べる♪JAグループまるごと企画』

旬のいちご狩りと自転車安全運転シミュレーション体験!
人気の農産物直売所で地産地消のお買物もできる!ワークショップ

実施日 2026年 2月14日 (土)

※幼児料金は5歳未満の設定です。親御様と一緒に体験頂けます。
(いちご狩り体験とお弁当は含まれます。お弁当は大人と同内容になります)

参加費 (税込) 大人・子供 4,000円 幼児 2,000円

※写真は全てイメージです

参加人数 60名様 (定員になり次第締め切ります)

申込締切 2025年12月26日 (金)

当日の行程 A班9:15分集合 B班10:15分集合 C班11:00集合 予定

当日の集合時間並びに出発時間については、後日改めてお知らせします

- 09:15~11:00 ▶集合場所：JAあつぎ相川支所
【受付・スケジュール説明】
- 09:20~11:25 ▶内海いちご園 ~いちご狩り体験～ 相川支所から徒歩移動
[30分食べ放題]
- 09:55~11:40 ▶JAあつぎ相川支所
【自転車安全運転シミュレーション体験※1家族1名予定】
- 10:15~12:00 ▶JAあつぎ相川支所出発
- 10:30~12:35 ▶JAあつぎ夢末市
【新鮮な地元の農産品をお買物 うれしいお土産付き！】
- 10:50~12:35 ▶解散

この企画はマイカーでの参加となります。
車1台につき2名～5名様の乗車までとさせていただきます。



お申込みのご案内

お申込みはメールにてお願いします。

- 参加費には、いちご狩り・昼食代・自転車安全シミュレーションが含まれております
- イベント実施日3日前までに送信する最終案内書にて集合場所及び時間をご案内させていただきます。
- イベント開催日から起算して5日前以降の取消および無連絡不参加の場合は、参加費はお返し致しかねますので、予めご了承ください。
- このイベントには国内旅行傷害保険に加入しておりません。ご希望の方は弊社スタッフまでお問い合わせください。
- お一人様での参加はできません。



新鮮で安全・安心な
農畜産物を食卓へお届けします！

消費者のみなさまと生産者を結ぶ受け橋、夢末市。
新鮮で安全・安心な農畜産物をお届けし、
地域とともに夢ある未来の実現を目指します



イベント主催
申込先

N Tour 株式会社 農協観光 神奈川エリアセンター
〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1-2-2 JAグループ神奈川ビル1階
TEL 045-201-7513 メール ntour.kanagawa@ntour.co.jp
営業日／月～金曜日（祝日は除きます） 営業時間／9時30分～17時30分

企画協力

J A あつぎ
JA共済連神奈川
JA神奈川県中央会

つながり
仲まし合いながら
ともに生きる未来をつくろう

第12回 東日本大震災 復興まつり

2013年から開催してきた復興支援まつりは、同じ志を持つおおぜいの団体の参加で「ともに生きる」「復興」「脱原発社会」をかけ、つながり続け、新たな出会いと再会を生み、人と人とのネットワークの広がりをつくりました。このようなつながりを積み重ねるとともに、新たな関係を生み出す大事な取り組みとして「東日本大震災・復興まつりともに生きよう!2025」を開催します。

復興に向け、東北で暮らす市民、神奈川で暮らす市民が横浜で交流し、さらなる連帯をつくり、未来を共に考えましょう。そして、市民を中心とした新しい地域づくりの実践を共有し、市民が当事者となる新たな社会づくりを進めていきましょう。

ともに生きよう! 2025
2025 11/22(土) 10:00~14:30
パシフィコ横浜 臨港パーク・芝生広場



ご家庭の余剰食品の寄付※
マイ箸・エコバッグの持参に
ご協力ください

出展団体の売り上げの
一部は被災地支援に
使われます



横浜市西区みなとみらい11-1-1
JR桜木町駅から徒歩12分、みなとみらい線みなとみらい駅から徒歩7分

主催
生活クラブ生活協同組合・神奈川

お問い合わせ

東日本大震災・復興まつり実行委員会

(生活クラブ生活協同組合神奈川 政策調整部)

045-474-0985



共催: 東日本大震災・復興まつり実行委員会

(構成団体: 一般社団法人市民連帯経済つながるかながわ、社会福祉法人いきいき福祉会、神奈川ネットワーク運動、公益財団法人共生地域創造財団、生活クラブ親生会、さんえすクラブ、福祉クラブ生協、横浜北生活クラブ生協、横浜みなみ生活クラブ生協、かわさき生活クラブ生協、湘南生活クラブ生協、さがみ生活クラブ生協)

後援: 神奈川県、岩手県、横浜市、川崎市、相模原市、大和市、海老名市、逗子市、三浦市、秦野市、藤沢市、茅ヶ崎市、綾瀬市、座間市、平塚市、小田原市、湯河原町、秋田県にかほ市、山形県遊佐町、宮城県南三陸町、宮城県東松島市、宮城県亘理町、岩手県宮古市、岩手県陸前高田市、岩手県大船渡市、福島県相馬市、福島県南相馬市、福島県会津若松市、福島県喜多方市、福島県新地町、神奈川県生活協同組合連合会、神奈川県協同組合連絡協議会、河北新報社、神奈川新聞社、tvk、FMヨコハマ、福島民報社、福島民友新聞社、生活クラブ連合会、株式会社フロンターレ、生活クラブふくしま生協(順不同)



第12回 東日本大震災 復興まつり

おいしいものを 食べよう！



約100ブースが出展します。
東北からの団体や生活クラブの生産者など、多数が出展予定。美味しいもの楽しいものがいっぱい!

東北と神奈川で
互いに
助け合う

東北の今を 知ろう!

震災から14年が経過し、
支援団体の活動と東北の今を
お伝えします。

*チラシに掲載されているメニュー・企画内容は、
実際とは異なる場合があります

ステージイベント

フードドライブ

「フードドライブ」とは家庭で余っている食品を提供いただき、食べ物に困窮する家庭や施設に届ける運動です。お米・麺類・缶詰・お菓子など、ぜひお持ちください。

※酒類や生鮮品等受け付けておりません。

Always with Smile

Digitized by srujanika@gmail.com

で賢くください。

略称は「AWS」。東日本大震災を機に、ゴスペラーズの北山陽一さんが発起人となり設立したアカペラグループ。関東に住む学生や社会人を中心に、歌うことを通じて被災地の人々との交流を深めるなど、様々な活動を行っています。



イベント詳細は生活クラブ神奈川HPを

わかめまき(子ども企画)

毎回大好評の企画。東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた重茂漁協にご協力いただき、三陸のきれいな海で育ったわかめを復興への想いとともに皆さんに届けます。今年も子どもも参加限定企画です。

協賛団体募集中！

協賛 (2025年8月28日現在)

研究フォーラム2025

弱者を生まない社会への転換を

日 時 12月9日(火) 13:30~16:15

場 所 神奈川区民文化センター「かなづくホール」(JR東神奈川駅 1分)

参 加 費 無料 (オンラインライブ配信はありません) ※後日アーカイブをインターネットで公開

申 込 み 二次元フォームで受付 (裏面参照)

基調講演 「財政」の視点からささえあい頼りあえる社会へ

講師：井手 英策さん (慶應大学経済学部教授)

今、世の中は、心身の病気やケガ、失業、倒産、被災など運悪く「落とし穴」に落ちた人たちを自己責任だと突き放し、恩着せがましく「最後のセーフティーネット」という生活保護等で「弱者を助ける」社会を、もうこれ以上悪くならなければ良し、とし始めてはいないでしょうか。このように「弱者を助ける」のではなく、そもそも「弱者を生まない社会」はどうしたら可能なのでしょうか？

巨大テック企業がテクノロジーを駆使して世界中のユーザー（企業・自治体・NPO・協同組合も、生産者も消費者も市民も、老いも若きも）を自分たちの「領地」に囲い込む「テック封建制」の前に為す術が無く見える私たちの未来への不安、ポピュリズムが蔓延しつつある内外の政治への不信、責任も規律も欠く政府。この現実に向き合い、人間の尊厳と自由を守る民主主義の手段としての「財政」の視点から、「互助」と「再分配」と「ソーシャル・ワーク」をキーワードに、支え合い頼り合える社会への転換はどの様に進めたらいいのか、お話をいただきます。



著書：『令和ファシズム論』『ベーシックサービス 「貯蓄ゼロでも不安ゼロ」の社会』等 多数

パネルディスカッション

地域の実践を基本とした「居場所と出番」のある希望の未来へ

コーディ
ネーター

(公財)かながわ生き
活き市民基金 理事長

荻原妙子さん

パネラー

南医療生協（愛知）
顧問

成瀬幸雄さん

パネラー

はたらっく・ざま 代表
NPO法人ワーカーズ・
コレクティブ協会
副理事長

岡田百合子さん



コメントター 井手英策さん

研究フォーラム2025 開催趣旨

超少子高齢社会が現実のものとなり、介護、医療、年金、生活保護等の社会保障制度は、軒並み抑制方向に向かい、格差の広がりや貧困が拡大しています。また非婚や高齢1人暮らしが増え、家族や支え合う関係は縮小しています。2040年には約40%が単身世帯になり、全体の35%超が高齢者になり、高齢者の7人に1人が認知症という状況になることが予測されています。そして孤独孤立が社会的に大きな課題となります。

そうした中、近年、政府は共生社会の実現を進める方針を出しています。しかし、「地域の課題はみんなで取組む」「お互い様で助け合う地域共生社会へ」というスタンスは、NPOや協同組合など非営利民間組織・団体が社会の様々な課題に取り組む実践や実績の中から生み出してきたノウハウと価値です。これでは、政府が地域の市民の共助を上から推奨するばかりで、政府自身の政策責任を放棄している、と言われても仕方がないのではないでしょうか。

参院選挙の結果を見ると、「とりあえず手取りを増やして欲しい」という声に応える政党に票が集まりました。こうした背景には「リスクの個人化」が強まる一方、社会保障制度等への不信感や将来への不安の高まりがあります。非正規雇用でギリギリの生活しかできない、年金や生活保護費だけでは暮らせない、といった状況に追い込まれる人々が増え、常態化しています。

本来、政府は、税金や年金を原資にすることによって尊厳ある生活を保障するのが役目であり、政府は、リスクを個人や家族の自己責任だけに押し付けない社会、個々の痛みや辛さを地域や世代が横断的に共有し、「リスクの社会化」を実現するための仕組みです。そのためにはどのようにして持続可能な原資をつくり、何に、どの様に再配分するのか。今こそ、この財政のあり方を考えることが必要であると言えます。

また、今や医療福祉の世界は外国籍住民なくしてケアはなりたちません。しかしながら、とりわけ在宅介護ではケアを受ける側が外国籍のスタッフを受け入れたがらない風潮が根強くあります。そして、今、社会への不満を参政権のない外国人攻撃の形をとってぶつける差別や排外主義の煽動が公然と行われるようになりました。ここで思い出されるのは、世界恐慌そして昭和恐慌の中で人々が支持したのは社会的連帯ではなく外国人や少数派の排斥であり、それが先の戦争につながっていったことです。いわゆる中間層といわれてきた私たち市民は、外国人やマイノリティーの人たちと分断ではなく連帯し、「お互いさま」のたすけあい社会をつくるには何が大切なのか、今までに自らに問う必要があると考えます。

本フォーラムでは、急速に少子高齢化する社会の孤立・孤独に対し、①持続可能な「公助」のあり方を考え、②お互いさまのたすけあいによる多様な「共助」の取組みを共有し、③意志ある市民が社会的マイノリティーの人たちと共に連帯して、各々の地域で関係づくりや活動を広げていくためのヒントを得ることをテーマにします。そして、これを「ひとりでも生きていける社会」「一人ひとりが生きがいや役割を持ち豊かさを実感できる社会」への第1歩とします。

申し込み方法

右記二次元コードより申込みフォームへアクセスして、必要項目を記入のうえ送信してください。

★アーカイブ（録画）は、開催後 参加型システム研究所HP等で配信します。

URL <http://www.systemken.org>



主催 「研究フォーラム2025」実行委員会

実行委員会参加団体：（公社）神奈川県地方自治研究センター 中央労働金庫神奈川県本部 こくみん共済coop 神奈川推進本部
神奈川県漁業協同組合連合会 生活協同組合パルシステム神奈川 生活クラブ生活協同組合 福祉クラブ
生活協同組合 NPO法人地球の木 （一社）市民連帯経済つながるかながわ （社福）いきいき福祉会
認定NPO法人WE21ジャパン オルタスクエア株式会社 NPO法人参加型システム研究所
協賛（依頼中）：神奈川県生活協同組合連合会 労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 JA神奈川県中央会
生活協同組合ユーロープ 神奈川県労働者福祉協議会 生活クラブ生活協同組合・東京 NPO法人まち
ぽっと 生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 NPO法人全員参加による地域未来創造機構
後援（申請中）：神奈川県 横浜市 川崎市

お問合せ

「研究フォーラム2025」実行委員会事務局 （特非） 参加型システム研究所内
〒231-0006 横浜市中区南仲通4-39 石橋ビル4F TEL 045-222-8720